

令和6年12月26日会議概要

第1 日時

令和6年12月26日（木）午前9時20分から午前11時40分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部通信庶務課長等

《書記 公安委員会補佐室室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 受験期における痴漢・盗撮事犯抑止対策強化活動の実施について

生活安全部長から、受験期間である令和7年1月6日から同年3月31日までの間、受験生が安心して受験に臨むことができる環境を確保するため、鉄道事業者、学校等と連携をとって、痴漢・盗撮事犯の抑止対策強化活動を実施する旨、報告があった。推進重点として、主要駅や試験会場周辺での取締り及び警戒活動の強化、鉄道事業者・教育機関等と連携した広報啓発活動、インターネット、SNSにおける痴漢等を助長する悪質投稿への対策等を掲げ、各種施策を実施するほか、令和7年1月16日に、京都駅コトチカ広場で、スタート式を開催し、新規施策として、盗撮が多発しているホットスポットに設置する盗撮防止ミラー、ポスター等を披露し、エスカレーター上に実際に設置して除幕式を行うこととしている。各警察署においても管内実態に応じた広報啓発活動や警戒活動を行い、受験生が安心して受験に臨めると共に、犯人に犯行を思い留まらせるための活動を実施していく旨、説明があった。

委員から、「受験期にこのような犯罪の被害者となった受験生は、実力が発揮できない。何よりもまず抑止活動が大切だと思うのでよろしく願います。」旨、発言があった。

(2) 年末年始における雑踏警備の実施について

地域部長から、本年12月31日から令和7年1月3日までの間、府内20箇所の神社仏閣を対象に雑踏警備を実施する旨、報告があった。本年の実施結果に基づき体制を見直し、今回は延べ約1,000人の警察官で雑踏警備に当たるもので、八坂神社では、歩行者専用道路の設置による混雑防止、参拝者の一方通行誘導による人流管理、伏見稻荷大社では、参拝者の一方通行誘導による動線確保と、一番太鼓待ちの参拝者に対する先頭誘導を行うほか、関係機関と連携した訪日外国人対策や車両突入等の突発事案対策を行う旨、説明があった。

委員から、「世間一般が正月休みの中で、このような業務に携わっていただくことは尊いことだと思う一方、ひとたび何か起これば大変なことであるので、緊張感をもって従事していただきたい。」旨、発言があった。

(3) 「110番の日」広報啓発活動の実施について

地域部長から、110番通報のうち3割程度がいたずら、間違い、要望・相談等の不要不急の通報であるという現状の中、110番の適切な利用を周知することを目的に「110番の日」

広報啓発活動を令和7年1月6日から同月24日までの間、実施する旨、報告があった。期間中の1月10日、パリオリンピック柔道女子48キロ級金メダリスト・角田夏実氏を1日通信指令課長に委嘱し、宇治署と共同企画したイベントを行い広報啓発活動を行うほか、各警察署が創意工夫を凝らした広報啓発活動により、正しい110番通報の利用を呼びかける旨、説明があった。

委員から、「不要不急の通報がなければ、よりきめ細やかな対応ができると思うので広報啓発をしっかり願います。」旨、発言があった。

(4) 南区内における殺人未遂事件の発生について

刑事部長から、捜査第一課及び南警察署は、本年12月23日、南区内のコンビニエンスストア駐車場において発生した当時40歳女性に対する殺人未遂事件について、犯行現場から車で逃走中、京都縦貫自動車道の高架から飛び降り、その後、搬送先の病院で死亡した当時53歳男性を被疑者として捜査を行っている旨、報告があった。

また、生活安全部長から、事件発生前、南警察署においては被害女性からの相談を受け、本部と連携した上で必要な対応を行っていたものであり、今後も引き続き、同種事案が発生した場合、相談者等の絶対安全確保を最優先に本部と署が連携の上、しっかり対応するよう本部関係所属、各警察署に対し指示を行った旨、説明があった。

委員から、「今回の件を踏まえて、今後も適切な対応をお願いします。」旨、発言があった。

(5) マイナンバーカードと運転免許証の一体化の概要について

交通部長から、令和7年3月24日から運用開始されるマイナンバーカードと運転免許証の一体化の概要について報告があった。マイナンバーカードのICチップに免許情報を記録することで、マイナンバーカードが運転免許証として利用可能となるもので3パターンの保有形態が選択できるほか、住所等の変更が楽になる、優良運転者と一般運転者についてはオンライン更新時講習が受講可能となる、住所地以外でも迅速な更新手続が可能となる、更新手数料が安くなる等のメリットについて説明があった。

(6) 監察案件（1件）

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

(7) 追加報告

警察用航空機の配備について

警備部長から、本年12月19日付けで警察用航空機「へいあん」三代目として後継機が配備された旨、報告があった。搭乗人員、航続時間、計器類の操作画面がタッチパネルになる等の変更点があり、現状の操縦免許証で操縦できるものの、必要な訓練を行っていく旨、説明があった。

2 個別決裁

公安委員会宛て苦情について（受理1件、処理2件、意見要望1件）

公安委員会補佐室長及び同室室長補佐から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出2件について、それぞれ調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。また、公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情申出に関して受理1件意見要望1件の報告があり、処理方針を決定した。

3 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、11件の行政処分を審議した。

4 個別報告

(1) 人事案件

警務部長から人事案件について説明があり、審議の上、了承した。

(2) 直接聴聞に係る行政処分の事前説明について

生活安全企画課担当補佐から、直接聴聞に係る行政処分の事前説明について報告があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。